

科目名	ソーシャルワーク実習（木村）						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	実習	学年	2年	開講時期	通年	単位数	4単位
担当教員	木村 淳也						

内容および計画	<p>ソーシャルワーク実習は、社会福祉士国家試験受験資格を取得するために必要な社会福祉現場での実習であり、本学では23日間以上、かつ180時間以上の実習時間を設定している。実習をとおして、社会福祉士として仕事をするうえで必要な専門知識及び専門技術、関連知識の内容について、理解を深めることを目的としている。そのため、本科目では、ソーシャルワーク実習で必要となる相談援助にかかわる知識と技術について、少人数のクラスにおいて、現場実習前の事前学習、現場実習中の巡回指導等、現場実習後の事後学習を行う。</p> <p>具体的な実習指導は、実習先施設、機関の種別ごとのクラスに分かれて学習を進めていきます。取り扱う内容や進め方等は、各実習クラスで異なるが、おおよそ計画に示すような内容に即して進めます。</p>
1	オリエンテーション 対象者理解（1）
2	対象者理解（2）
3	対象者理解（3）
4	秘密の保持と権利擁護に関して
5	個別支援計画の意義について
6	個別支援計画作成
7	社会福祉実践における記録の意義
8	実習記録への記録内容と記録方法に関する理解（1）
9	実習記録への記録内容と記録方法に関する理解（2）
10	実習における実習計画書の目的
11	実習計画書の作成（1）
12	実習計画書の作成（2）
13	実習計画書の作成（3）
14	実習計画書に関する実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者の協議
15	実習内容等に関する最終確認
16	実習巡回指導（1）
17	実習巡回指導（2）
18	実習巡回指導（3）
19	実習巡回指導（4）
20	実習巡回指導（5）
21	実習記録や実習体験のふりかえりと課題の整理（1）
22	実習記録や実習体験のふりかえりと課題の整理（2）
23	実習記録や実習体験のふりかえりと課題の整理（3）
24	実習記録や実習体験のふりかえりと課題の整理（4）
25	実習報告書の作成（1）
26	実習報告書の作成（2）
27	実習報告書の作成（3）
28	実習報告書の作成（4）
29	実習報告会の実施
30	実習報告会をふまえての実習に関する自己評価とまとめ

教科書	その都度紹介します。
-----	------------

参考書	その都度紹介します。
-----	------------

成績評価	評価方法	割合
	出席状況・受講態度等	20%
	発表 課題・レポート・報告書等	60%

学習到達目標	<p>(1) 相談援助実践を行う上で必要な知識および技術について具体的かつ实际的に理解を深める。</p> <p>(2) 社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、課題把握能力等、総合的に対応出来る力をつける。</p>
--------	---

先修条件	ソーシャルワーク実習指導、社会福祉学概論・、ソーシャルワーク・、社会保障論・、児童家庭福祉、障がい者福祉論、高齢者福祉論
その他	